

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

1月報

インフルエンザ/COVID-19定点（小児科定点を含む）

※令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染症法上の位置付けが5類感染症になり、定点医療機関による定点把握となっています。

インフルエンザ： 6,176件（前月比0.5、前年同月比2.4）でした。前々月、前月と比較して減少しましたが、2月もインフルエンザ流行の拡大が予想されます。引き続き流行状況に注意が必要です。患者は人吉（127.00）、有明（119.63）、宇城（112.67）から多く報告されました。

新型コロナウイルス感染症： 4,555件（前月比2.7）で、前月より増加しました。前年11月以降に患者数が増加傾向で、2月もさらなる増加が予想されます。患者が多数報告された地域は、有明（109.75）、宇城（76.33）、天草（72.00）でした。

小児科定点

（全体傾向）

13,777件（前月比0.80、前年同月比3.11）でした。患者数は前月より減少しましたが、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症を筆頭に、多くの感染症が流行しています。1月に増加が目立った感染症は伝染性紅斑、新型コロナウイルス感染症で、減少が目立った感染症はRSウイルス感染症、インフルエンザ、咽頭結膜熱でした。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症： 1件（前月比0.1、前年同月比0.0）で、流行はありませんでした。
2. 咽頭結膜熱： 342件（前月比0.5、前年同月比14.3）で、前月より減少しましたが、直近3年間では1月の患者数をもっとも多くなりました。年齢別では3歳にピークがあり、1～4歳で全体の6割（210/342）を占めました。菊池（13.80）、八代（10.25）から多数の報告がありました。
3. A群溶連菌咽頭炎： 565件（前月比0.8、前年同月比24.6）で、前月より減少しましたが、前年秋からの流行が続き、高い水準で推移しています。年齢別では6歳にピークがあり、0歳（0～5ヵ月）を除き、幅広い年齢層で流行しています。菊池（16.60）、熊本（15.69）、八代（15.00）から多く報告されました。
4. 感染性胃腸炎： 1,660件（前月比0.9、前年同月比1.4）でした。前月とほぼ同水準であり、冬季の流行が続いています。1歳をピークに全ての年齢層で発生しました。有明（82.00）、菊池（69.40）で患者数が多くなっています。
5. 水痘： 43件（前月比0.7、前年同月比2.9）でした。前年秋からの流行が続いています。
6. 手足口病： 69件（前月比0.6、前年同月比1.3）で、流行は収まりつつあります。年齢別では1、2歳が多数を占めました。
7. 伝染性紅斑： 4件（前月比4.0、前年同月比-）でした。
8. 突発性発疹： 84件（前月比1.2、前年同月比1.0）で、前月と大きな変動ありません。
9. ヘルパンギーナ： 20件（前月比0.7、前年同月比0.3）で、流行なく落ち着いています。
10. 流行性耳下腺炎： 6件（前月比0.7、前年同月比0.9）で、報告数に特に変動はありませんでした。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 63件（前月比0.9、前年同月比3.9）と前年より増加しています。熊本53件、菊池5件、有明3件、天草2件の報告です。年齢別では30～39歳にピークがありますが、8～9歳を除いた年齢にもまんべんなく報告されています。

STD定点

※平成25年1月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が13医療機関から16医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：
101件（前月比1.4、前年同月比1.5）で、前月比前年同月比共に増加しています。男女別では男性が68件、女性は33件で、罹患年齢層は男性が15歳代～70歳以上で幅広く、女性は15歳から49歳でした。保健所別発生件数は熊本が79件、有明が6件、宇城と御船が共に5件、八代が4件で菊池が2件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
21件（前月比0.8、前年同月比1.1）で、前月比で軽度減少、前年同月比は微増でした。男女別では男性が14件、女性が7件で、罹患年齢層は男性が20歳～69歳、女性は15歳～49歳までに5人、70歳以上が2人でした。保健所別発生件数は熊本が16件、八代が3件、菊池が2件でした。
3. 尖圭コンジローマ：
8件（前月比0.6、前年同月比1.0）で、前月比は減少、前年同月比で増減無しでした。男女別では男性が3件で女性が5件で、罹患年齢層は男性は20歳～24歳、女性は20歳～34歳でした。保健所別発生件数は熊本が5件、菊池、有明、宇城が各1件でした。
4. 淋菌感染症：
31件（前月比1.2、前年同月比0.8）で、前月比で軽度増加、前年前月比は軽度減少でした。男女別では男性が30件で、女性は1件で、罹患年齢層は男性が15歳～69歳、女性の1件は20歳～24歳でした。保健所別発生状況は熊本が23件、有明と宇城が共に3件、御船と八代が共に1件でした。

基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
22件（前月比：0.8、前年同月比：0.8、男女比：12/10）と減少傾向でした。熊本（12）、山鹿（5）、有明（4）、阿蘇（1）でした。年齢分布としては70歳以上（12）、0歳（4）、5-9歳（3）、1-4歳・40-44歳・60-64歳（各1）と高齢者に偏りつつ、全世代で認められました。
▼例年よりやや少ない報告数ですが注意が必要です。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
1件（前月比：1.0、前年同月比：0.5、男女比：1/0）と横ばいでした。熊本（1）で、年齢分布としては60-64歳（1）でした。
▼例年よりやや少ない報告数でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼昨年に続き報告なく推移しています。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎 : 1件 (前月比 : 1.0、前年同月比 : 0.5) で横ばいでした。熊本 (1) でした。年齢分布としては15-19歳 (1) でした。
▼例年並みの報告数でした。
2. 無菌性髄膜炎 : 1件 (前月比 : -、前年同月比 : 1.0) と増加傾向でした。熊本 (1) でした。年齢分布としては15-19歳 (1) でした。
▼例年並みの報告数でした。
3. マイコプラズマ肺炎 : 3件 (前月比 : -、前年同月比 : -) で急増傾向でした。水俣 (3) でした。年齢分布としては10-14歳 (3) でした。
▼1月に入ってからの水俣地区における同世代の報告にて疫学的に注意が必要です。
4. クラミジア肺炎 : 0件 (前月比 : -、前年同月比 : -) で報告はありませんでした。
▼引き続き報告はありません。
5. 感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる) :
0件 (前月比 : -、前年同月比 : -) で報告はありませんでした。
▼昨年12月以降、引き続き報告はありません。

届け出対象感染症

1類感染症	: 報告はありませんでした。	
2類感染症	: 結核	10件
3類感染症	: 腸管出血性大腸菌感染症	2件
4類感染症	: つつが虫病	1件
	レジオネラ症	1件
5類感染症	: カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1件
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
	後天性免疫不全症候群 (HIV感染症を含む)	2件
	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
	梅毒	17件
	百日咳	2件